★100歳おめでとうございます

▲鎌田　タケノさん（坂本町鎌瀬）
明治41年6月23日生

長生きの秘訣は「よく食べ、よく喋ること」。最近は、好きな裁縫ができなくなったので、折り紙遊びをたのしんでいるタケノさんです。

▲西垣　マキさん（日奈久新田町）
明治41年6月20日生

入院するまでは、毎日、朝の体操と日記をかかさず、今でも結婚した日や兄弟の名前をみんな覚えておられるおばあちゃんです。

★「福祉に役立てて」と寄附

ミャンマー・中国への救援金も

▶右から：横場工業株式会社江崎拓茂（たくも）御夫妻、坂田市長、呉（くれ）緑化センター社長　石内義夫さん

新港町の横場工業株式会社から「福祉分野に役立ててほしい」と市に1千万円の寄附があり、7月8日、市長応接室で江崎社長から坂田市長へ手渡されました。

また、ミャンマー・サイクロン災害と中国大地震に対しても、同社と江崎社長の知人であられる有限会社呉緑化センター（広島）石内義夫社長から100万円ずつ計200万円の救援金が贈られ、日本赤十字八代地区から被災地地区に届けられる予定です。

坂田市長から「多額の寄附と心温まる救援金に感謝します」と感謝の言葉がありました。

★明日への自立を支援

希望の里たいようオープン

▶完成した「希望の里たいよう」

障害福祉サービス事業所「希望の里たいよう」が高下西町にオープンし、7月5日、落成記念イベントが開催されました。

▲楽しい音楽とトーク

この施設は、障がい者が自立した社会生活を実現できるよう支援するもので、買物カゴの洗浄や印刷、軽作業などのほか、施設の一角にある「パン工房たいよう」でパンの製造・販売も行います。

式典では、玄関前でのテープカットに続いて挨拶や寄付者等への感謝状贈呈、名称募集の表彰などが行われたあと、アトラクションとしてシンガーソングライターのむたゆうじさんのコンサートが開かれ、参加者たちは会場を巻き込んだ楽しい音楽とおしゃべりを満喫しました。

★地域が見守る

手作りの交通教室

▶▲手作りの道路標識
信号機・トラック

日奈久小学校では、校区の森喜久男さん（交通指導員）ほか交通安全協会の皆さんの支援を受け交通安全に取り組んでいます。

昨年は手作りの信号機を製作され、今年は、道路標識とトラックを製作。6月30日には、同小で交通教室が行われ、地域の皆さんの知恵と工夫のおかげで子どもたちの交通意識が高まっています。